イベント情報

『自然講座
　高尾山１日英語ガイド体験講座①･②』

自然解説員と一緒に外国人に高尾山の自然を紹介する手法を学びます。

実施日時： 5月14･28日(日)　9:40～16:00
対　　象： 高校生以上
定　　員： 20人

『自然講座 女性のための安心登山術』

女性が安心して登山を楽しめることを目指しての講座です。講師には単独登山の経験豊富な、山岳ライター柏澄子さん（1967年生まれ）をお招きします。

実施日時： 6月17(土) 9:30～15:30
対　　象：中学生以上
定　　員：20人

◆イベント詳細・申込方法◆

東京都広報5･6月号に掲載致します。
ビジターセンターのホームページ↓からもご覧いただけます。http://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/

イベント報告　**2月18日(土)**

夜の高尾山･サル園ツアー

ムササビを観察した後、更に夜のサル園を観てもらおうという行事。夕方は動物の残した糞や食べ痕などを探して歩き、夜は薬王院でムササビを待ち伏せ。サル園では、園長さんのお話を聞きながら、普段なかなか見られない夜のサル達の様子を観察しました。
サルさん達、寝不足にさせてごめんなさい。

2006年夏号
次号予告 2006年7月1日発行予定

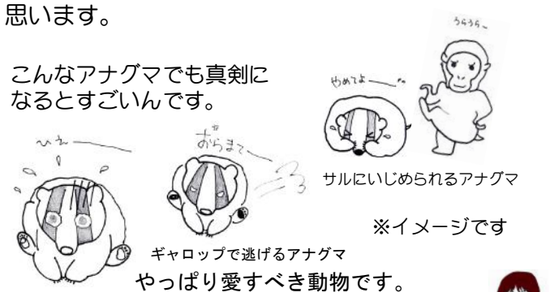
解説員とっておき－トピックス－
稲荷山コース自然情報マップ
霧吹き－観察お助けグッズ⑦－
ゴミ問題－環境問題⑦－

高尾山こぼれ話 しもむら解説員から

野生？アナグマ

私は動物の中で、ニホンザルの次にアナグマが大好きです。高尾山ではたったの一度しか出会ったことがありませんが、一目会ったその日から彼の虜となってしまいました。あのモサ～っとした顔と、ヌボ～っとした動きを見ていると、自然界の厳しさを感じさせず、逆に「生きていけるのだろうか」と不安になる感じがたまりません。ある人から、サルにいじめられているアナグマを目撃したと聞きました。ますますかわいい奴っ！だと思います。

こんなアナグマでも真剣になるとすごいんです。



サルにいじめられるアナグマ

※イメージです

ギャロップで逃げるアナグマ

やっぱり愛すべき動物です。
（でもいちばんはサルだけど）

担当：

しもむら

高尾ビジターセンターのご案内

プログラム案内（無料）

「スライドショー」(約15分)
高尾山の自然についてご紹介します。
平日　11:00～　14:30～
休日　10:30～　11:30～　14:30～

「ガイドウォーク」(約50分)
山頂周辺をご案内します。
毎日　13:00～

☆団体でのプログラム利用は事前にご相談下さい。

編集後記

長い長い冬も終わり、まちに待った春です。日一日と姿を変える生き物達から目が離せません。C.A
担当の名前替わりに、似顔絵をいれることになりました。似顔絵の解説員を見つけたらお気軽に声をかけてくださいね。M.O

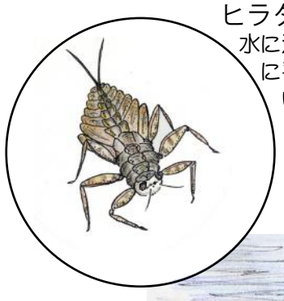
季刊 高尾ビジターセンターニュースレター「のぶすま」
2006年4月5日発行Vol.6
発行者
東京都高尾ビジターセンター　自然解説員
〒193-0844 東京都八王子市高尾町2176
電話　042-664-7872　FAX　042-662-9926
ホームページhttp://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/

購読の方法

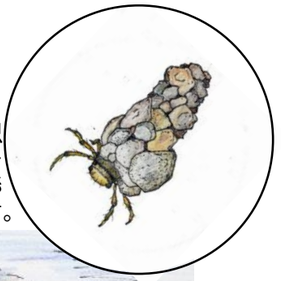
80円切手を貼った封筒（※宛先に送付先の郵便番号・住所・氏名を必ず記載してください。）を送付希望分同封し、上記ビジターセンターまでご郵送下さい。

そ～っと
のぞいてみてごらん

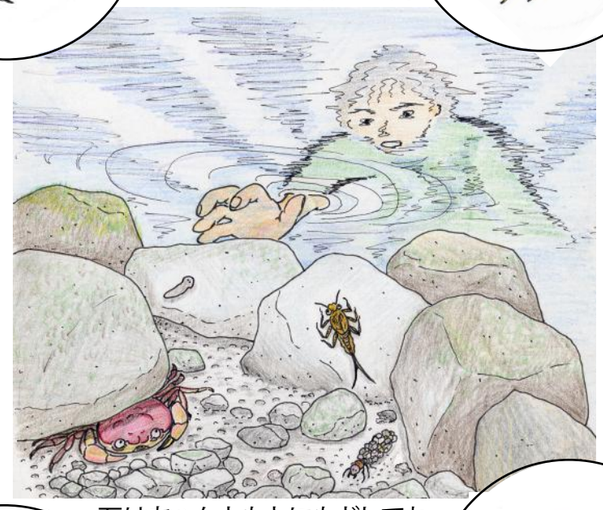
春が来たとはいえ、まだまだ冷たい水の中。石をどけてみてみると…。
大人になるときを待っている生きものもいます。幼虫の時期は1～2年と長いのに、大人になると2～3日で命を終える生きものたち。流されないよう、一所懸命生きています。
5～6月は羽化する虫も多いので、もしかしたら羽化の瞬間を見られるかも。



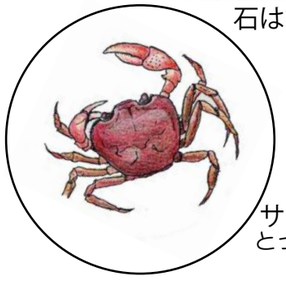
ヒラタカゲロウ
水に流されないように平たい体をしています。



トビゲラの幼虫
自分の体から出した糸で小石をつむいで巣を作ります。

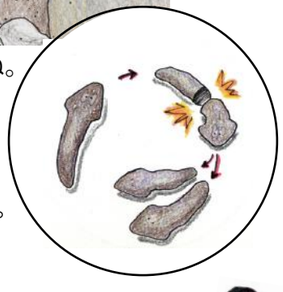


石はちゃんともとにもどしてね。



サワガニ
とっちゃだめよ。

ウズムシ
切ってもすぐに再生する不思議な生き物。



担当：

あらつ

ちょこっと登山情報

	日の出時刻	日没時刻	平均気温
4月 1日	5:28	18:03	13.0℃
4月15日	5:09	18:14	
5月 1日	4:50	18:27	17.7℃
5月15日	4:36	18:39	
6月 1日	4:26	18:51	21.1℃
6月15日	4:24	18:59	

スズメバチ、アシナガバチ、ヘビが活動を開始する季節です。
こうした生き物に手を出さないように注意しましょう。飴の香料や、香水の香り、黒や紺色の服等は、どれもスズメバチを刺激する要因なので、登山前に出来る予防策をとって登山を楽しんでください。

※記載した日の出・日没時刻は東京での時刻に、平均気温は八王子市の気温になります。高尾山頂での気温はこの平均気温より３℃ほど低くなります。

季刊 高尾ビジターセンターニュースレター
のぶすま

2006年春号 Vol.6

「のぶすま」とは、ムササビの古い呼び名です。
高尾山に住む人気者のムササビにあやかって「のぶすま」とつけました。

4·5·6月の ビジターセンター発

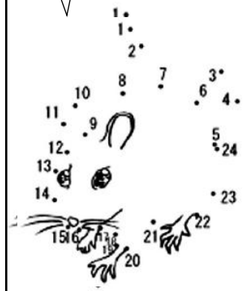
4号路自然情報

新緑がきれいな4号路。陽の光に透けた葉っぱの色がなんともいえません。今回も見所情報満載です。

4号路の私は誰でしょうクイズ！

森の中を歩いていると道の横に小さな穴を発見。どうやら奥深くまでつづいているよう。だれかのおうちのようです。だれのおうちかな?

はぁ～い、わたしのおうちです。
数字の順に点を線で結んでね！



体が小さく岩の下や、やぶの中など、森にあるたくさんのすき間にかくれる、かくれんぼの天才。

さぁ、頼りはあなたの５感

夏鳥がやってきた!

森の中に美しい鳴き声が響きわたります。4号路ではオオルリ、キビタキ、ツツドリ、クロツグミなどが確認されています。
見頃:4月下旬～10月

イヌブナの芽生え

昨年はイヌブナの当たり年。たくさんの実が落ちました。足元を見てみると、この実から芽生えたかわいい双葉が見られますよ。

いいにおい♪ホオノキの花びら

ホオノキは花も葉っぱも特大。一枚の花びらも手のひらサイズ。落ちていたらぜひにおいをかいでみて。
見頃:4月下旬～5月

みんな「シデ」

花の形を神社にある雷形の白い紙「四手」にたとえたとか。シデの仲間は名前も葉っぱの形もよく似ています。でも、よ～く見てみると!?

アカシデ
開いてすぐは赤っぽい。先っぽがとんがる。

イヌシデ
葉の裏側の脈は毛むくじゃら。

サワシバ
葉のつけ根がハート形。

これでも花!?フサザクラ

花びらがなければ、がくもない。これでも花なんです。赤く目立つのは雄しべ。つり橋の上からは間近に見ることができます。
見頃:3月下旬～4月

春の花情報

見頃：4月
　ナガバノスミレサイシン、ラショウモンカズラ
見頃：5月
　ホオノキ、クワガタソウ
見頃：6月上旬
　イナモリソウ、イワガラミ、ウリノキ

担当：あなだ

観察お助けグッズ ＃6 図鑑

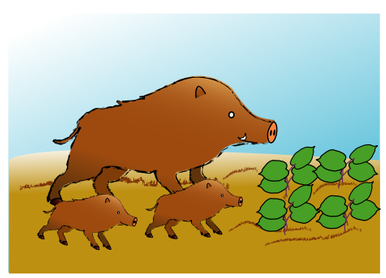
草木の名前が知りたいときは図鑑を活用しましょう。科別に種名を並べた図鑑が一般的ですが、植物は種類が多いので、最初から全部調べるのは大変です。何の仲間か見当もつかないときは葉の形（鋸歯の有無など）や付き方（対生、互生など）から調べられる検索図鑑を使うとよいでしょう。落葉の季節に木を調べるなら、「冬芽」の図鑑もあります。他にも、花の色別に調べられる図鑑や、よく似た植物の違いを解説した図鑑、高尾山のように人気のある場所なら、その地域の植物だけを集めた図鑑などもあるので、本屋さんで探してみましょう。

担当：ばん

高尾山からのぞいてみよう環境問題⑥

イノシシは場違い？

イノシシが人の生活に接触することが年々増えてきました。原因として、経済成長に伴い、離農が進んだ山あいの耕作放棄地がやぶになり、もともと里山地域を生息地にしていたイノシシにとって格好のすみかが出来たことがあげられています。また、タケノコが大好きなので、耕作放棄地に出現した竹やぶでは、餌の確保もでき、山奥に追い込まれた暮らしから、元の里山の暮らしに戻ることが出来ました。イノシシが増えたことで高尾山内では、ヤマユリの球根の食害が増え、ここ数年、ヤマユリの花を見かけることが少なくなりました。周辺地域でも、畑を荒らされる被害が増えたそうです。里山の生き物だったイノシシがもとの生息範囲に戻ってきたことに対して、人間側の私たちが、適切な対応の仕方を考えていけたらと思います。



担当：おくむら